

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスはびねすジョブ若里		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童に居心地の良い環境づくりを提供することができる	職員が児童と同じ目線に立って関わっている	児童一人ひとりの特性やその日の状態に応じた関わりや環境調整を行い、安心して過ごせる時間の質を高めていく。また、職員間で支援方法の共有を行い、関わりの統一を図ることで、より安定した環境づくりを継続する。
2	コミュニケーションを取りやすい雰囲気を作ることができている	児童同士で自然と関わられるような遊びや機会(SST)などを多く取り入れている	個々の児童のコミュニケーション特性に応じた関わり方を工夫し、成功体験を積み重ねられる機会を増やす。また、小集団での活動や役割設定などを通して、より主体的に他者と関わられる場面を広げていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境面の課題。スペースの関係で落ち着いて過ごせる個別スペースが十分に確保できない場合がある。	施設スペースの制限。建物構造や部屋数の関係で環境調整が難しい場合がある。	環境調整の検討。パーテーションの活用などにより、落ち着いて過ごせるスペースの確保を検討する。
2	地域交流の機会。地域の子どもの交流や地域活動への参加機会が少ない。	地域とのつながり不足。地域交流の機会を作るための情報収集や調整が十分にできていない。	地域や関係機関との連携。学校や相談支援専門員との情報共有を強化し、地域とのつながりを広げていく。
3			